

防災を担う新たな力

平成24年度町消防団任命式

4月1日、平成24年度町消防団任命式が役場大会議室で開かれました。

式ではまず、幸隆一団長から各班長33人と新入団員46人に任命書が交付されました。また、新入団員を代表し、松本翔太郎さん(田原)が「命令、条例および規律を遵守し、良心に従って忠実に消防の義務を遂行します」と宣誓しました。



地域防災を担う新班長と新入団員たち

式の中で、住永町長は「消防団の幹部、新しい消防団員になったという自信と誇りを持ち、幸団長の指揮の下、頑張ってください」と激励の言葉を贈りました。

続いて幸団長が「自分たちの町は自分たちで守るという高い防災意識を持ち、団員一丸となって町民の皆さんの期待に応えられるように頑張ってください」と訓示しました。

式終了後、新入団員たちは高遊原南消防署に場所を移し、初期救命手当てである「AED操作」や規律訓練、ホースの取り扱い方などの講習を受け、防災の担い手として真剣に取り組んでいました。



初めてのホース巻き。真剣そのもの



初期救命手当ての訓練を受ける団員たち



宣誓を行う松本さん

競技に集中できる環境を

スポーツ講演会とサッカー教室を開催

町内スポーツ指導者の養成と競技スポーツの振興を目指して3月20日、元サッカー日本女子代表監督の鈴木保氏によるスポーツ講演会が町総合体育館で開催されました。

鈴木氏は、「人を動かすサッカー日本女子代表チームの指導から」と題し、選手たちがサッカーに集中するための環境づくりや、選手とのコミュニケーション



講演会を終ると、鈴木氏をはじめ鍵本勝美氏、廣谷和信氏、小松泰幹氏の4人のコーチによるサッカー教室が町陸上競技場で開かれ、約160人の小中学生がサッカーの基本的な練習方法を学び、元気な声を響かせながら競技場内を走り回りました。



サッカー教室で元気に走る子どもたち

のとり方で苦労したことなどをこれまでの経験を交え分かりやすく講演。参加者らは、メモを取りながら熱心に聞き入っていました。

講演会が終ると、鈴木氏をはじめ鍵本勝美氏、廣谷和信氏、小松泰幹氏の4人のコーチによるサッカー教室が町陸上競技場で開かれ、約160人の小中学生がサッカーの基本的な練習方法を学び、元気な声を響かせながら競技場内を走り回りました。